

# 議会市民懇談会報告書

平成26年3月3日

山陽小野田市議会議長 尾山信義 様

総務文教常任委員長 河野朋子

平成26年2月28日開催の議会市民懇談会の実施状況について下記のとおり報告いたします。

## 記

1 開催日時

平成26年2月28日（金） 19:00 ～ 20:40

2 開催場所

中村公会堂

3 申請団体等名称

埴生小中一体型連携校建設署名活動発起人団

4 参加人数（市民）

10 人

5 テーマ

埴生公共施設再編

6 担当議員名

（ 河野朋子 ）（ 中村博行 ）（ 伊藤 實 ）（ 岡山 明 ）  
（ 笹木慶之 ）（ 山田伸幸 ）（ ）（ ）

## 7 懇談会次第

- (1) 開会挨拶
- (2) 出席者紹介
- (3) テーマの趣旨説明
- (4) テーマの報告
- (5) 意見交換
- (6) 閉会挨拶

## 8 意見交換の主な内容

○ テーマである埴生地区公共施設再編問題と言うより、埴生小中一体型連携校建設についての問題に終始する。

○ 埴生小中一体型連携校建設署名活動発起人団の中村代表（司会）より、連携校建設について、平成 21 年教育委員会の提案から本年 1 月に署名簿を市に提出し、今日に至るまでの経過説明がある（資料は平成 23 年 9 月～26 年 2 月）。

〔経過内容〕

- ・ 当初、教育委員会の一方的な説明（中学校敷地面積は拡張しない）から埴生小保護者がアンケートを実施し（23 年 11 月）、反対多数となり、問題がこじれ始めた。
  - ・ 埴生自治の会(24 年 12 月)で埴生地区公共施設再編協議会設置が採決されるが、賛成派・反対派の溝は埋まらず、協議会は開かれなかった。その後、進展が見られず、硬直したままの状況が続いた。
  - ・ 市長と住民の意見交換会第 2 回目（25 年 10 月から 26 年 2 月まで 5 回開催）で、市長から「埴生小は耐震補強工事をします。」の発言があり、建替えの可能性が消滅する危機感から署名活動を実施し、26 年 1 月 30 日に 1914 名の署名簿を市に提出した。
  - ・ 2 月の意見交換会では、市長から「建物自体の耐力度調査を実施する。」旨の発言があった。
- ◆ 委員から署名の際の趣旨内容の資料の提出を求め、回覧する。
- 賛成派は門戸を開けているが、要請しても埴生小保護者が拒否の姿勢を変えないので、署名活動に入った。敷地周辺の地権者とも話し、好感触を得ている。
- ◆ 委員から、「賛成・反対の双方とも目指すところに大きな違いはないはずである。小学校 P 保護者とハード面だけでなく、ソフト面についても話し合い、一本化して行政に敷地面積、通学路の問題についても要望することが解決につながる。今の状況は地域の得にはならない」と指摘する。
- 代表が、「フリートークにより、現状を知って頂いたと思うので、今後とも埴生地区のまちづくりや発展に理解と協力を総務委員会にもお願いしたい」と結び、終了する。